

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94200	文化会館運営費		担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	4	文化
	項	4	社会教育費		基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る
	目	2	文化会館費		施策	1	文化的環境の醸成
実施計画事業	文化会館管理事業						
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します 芸術文化の振興を積極的に支えます					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	文化会館の適正な管理運営により市民の利用を促進する どういった状態にしたいのか(意図)		
概要	事業の実施手法(手段) 指定管理者による施設の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 開館日数	開館日数	日	目標値	316	316	318
実績値				316	316	318	-
算出根拠等	開館日数		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 利用者数	人	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000
実績値			266,501	299,073	300,000		
算出根拠等	利用者数		達成率(%)	89	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			109,572	106,621	105,435	105,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			123	120	100	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			109,449	106,501	105,335	105,000
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)		411	357	351	350	
		受益者 利用者数(B)	266,501	299,073	300,000	300,000	
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・市長の公約、総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	・芸術文化活動等の活性化に伴い施設利用に対する市民ニーズは高まっている
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	・芸術文化活動等の中核的施設として多くの市民に利用されている
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	・指定管理者制度の導入により利用者サービスの向上を図っている
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者と連携し、利用者目線に立った施設運営に努めている
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者制度を導入し、コスト縮減に取り組んでいる
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	・施設の管理運営事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	・多くの市民に利用されており、成果に対するコストは適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	文化会館の適正な管理運営により市民の利用を促進する				
総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・施設の老朽化、駅周辺整備などを考慮し、将来的なあり方を検討する必要がある。				
議会からの提言等					

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	105,435	106,298	863	104,575	104,575
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	100	118	18	100	100
一般財源	105,435	106,298	863	104,475	104,475
予算要求の概要	施設の管理運営				
要求額増減理由	建築基準法による定期調査の実施に伴う増				
事業実施の課題					
財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・建築基準法による定期報告書作成業務委託は、建築営繕等事務費(土木費)で対応				
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり				

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94210	文化会館整備事業費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	4 文化	
	項	4 社会教育費		基本施策	2 あらたな文化の創造と振興を図る	
	目	2 文化会館費		施策	1 文化的環境の醸成	
実施計画事業	文化会館管理事業					
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します 芸術文化の振興を積極的に支えます				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	誰もが気軽に利用しやすい快適な生涯学習環境を整備する (意図)		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の改修整備	
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①			目標値			
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)	232,350	11,080	137,300	50,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源	232,350	11,080	137,300	50,000			
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)		2,466	118	1,471	536	
	② 受益者 市民(4月1日現在)(B)		94,235	93,822	93,312	93,200	
	算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・市長の公約、総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	・施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	・多くの市民が利用する施設であり、事業効果は市民全体におよんでいる。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	・施設の整備事業であり、事業内容が多岐にわたるため、活動成果指標の設定が困難である
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	評価対象外	・同上
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	・同上
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・設備ごと、箇所ごとに集約して改修することで、コスト縮減を図っている
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	・施設の整備事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	・市民ニーズを踏まえ、計画的かつきめ細やかに整備を行っており、成果に対するコストは適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 14.0	100点換算	93 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の実施方針(担当課評価)	誰もが気軽に利用しやすい快適な生涯学習環境を整備する			

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性・安全性の向上や施設の長寿命化などを図るため、今後も計画的に施設・設備を整備する必要がある。</li> <li>・施設の老朽化、駅周辺整備などを考慮し、将来的なあり方を検討する必要がある。</li> </ul>			

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	50,000	91,000	41,000	79,000	79,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	50,000	91,000	41,000	79,000	79,000

予算要求の概要	施設の改修整備
要求額増減理由	施設改修の増
事業実施の課題	利用しやすい快適な生涯学習環境の整備(老朽化への対応、安全性の確保等)

財務部査定の考え方	・安全対策工事の前倒し実施
-----------	---------------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおり
----------	------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94325	公民館管理費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	2 生涯学習	
	項	4 社会教育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境づくり	
	目	3 公民館費		施策	2 学習施設の整備	
実施計画事業	公民館運営事業、公民館維持修繕・改修事業					
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	一般市民	受益者数	93,312 人
目的	公民館の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	指定管理者による施設の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 施設数			目標値	14	13	14
			実績値	14	13	14	-
算出根拠等	各施設報告		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
		実績値					-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 公民館利用者数	人	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000
実績値			108,417	106,915	120,000	-	
算出根拠等	各施設報告		達成率(%)	90	89	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	1,073	517	456	583
実績値			1,073	517	456	583	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円) (A)			116,352	55,319	54,678	70,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			1,342	1,241	1,000	1,000
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			115,010	54,078	53,678	69,000
	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者 利用者数 (B)	(B)	目標値	108,417	106,915	120,000	120,000
			実績値	108,417	106,915	120,000	120,000
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・社会教育活動等の活性化に伴い施設利用に対する市民ニーズは高まっている
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・社会教育活動等の中核的施設として多くの市民に利用されている
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・指定管理者制度の導入により利用者サービスの向上を図っている
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者と連携し、利用者目線に立った施設運営に努めている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者制度を導入し、コスト削減に取り組んでいる
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・施設の管理運営事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・多くの市民に利用されており、成果に対するコストは適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0	100点換算 → 80 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	公民館の適正な管理運営により市民の利用を促進する				
総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・将来的には施設の統廃合を視野に入れながら、公民館のあり方について検討する必要がある。				
議会からの 提言等					

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	54,678	49,966	△ 4,712	46,798	46,798
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	1,000	1,119	119	940	940
一般財源	53,678	48,847	△ 4,831	45,858	45,858
予算要求の概要	施設の管理運営				
要求額増減理由	他事業との経費の移し替えに伴う減				
事業実施の課題	老朽化等への対応				
財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・多目的ホール天井の安全点検費用を計上 ・建築基準法による定期報告書作成業務委託は、建築営繕等事務費(土木費)で対応				
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり				

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94400	女性青少年会館等管理費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	5 地域	
	項	4 社会教育費		基本施策	1 地域に住み続けたいという思いを育てる	
	目	4 女性青少年推進費		施策	1 家庭を大切にすることづくり	
実施計画事業	女性青少年会館管理事業					
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	女性青少年	受益者数	93,312 人
目的	女性青少年会館の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	指定管理者による施設の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 開館日数		日	目標値	296	299	295
実績値				296	299	295	-
算出根拠等	指定管理者の報告による		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 利用人数	人	目標値	23,000	23,000	23,000	23,000
実績値			22,432	22,222	23,000	-	
算出根拠等	指定管理者の報告による		達成率(%)	98	97	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 利用者数	人	目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出 (千円) (A)	16,086	15,656	15,660	15,700		
	受益者負担(使用料・負担金等)	16	16	14			
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源	16,070	15,640	15,646	15,700			
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
	① 受益者1件当たり (円) (A/B)	717	705	681	683		
	受益者 利用者数 (B)	22,432	22,222	23,000	23,000		
	②						
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	・女性青少年の活動の拠点として施設利用に対する市民ニーズは高い
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・女性や青少年のみならず子ども会活動等、幅広い市民に利用されている
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・指定管理者制度の導入により利用者サービスの向上を図っている
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者と連携し、利用者目線に立った施設運営に努めている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者制度を導入し、コスト縮減に取り組んでいる
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・施設の管理運営事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・多くの市民に利用されており、成果に対するコストは適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	女性青少年会館の適正な管理運営により市民の利用を促進する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・女性の文化と教養を高め、青少年の健全な育成に寄与できる施設となるよう努める必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出 (千円)	15,660	15,982	322	15,790	15,790
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	14	14	0	14	14
一般財源	15,646	15,968	322	15,776	15,776

予算要求の概要	施設の管理運営
---------	---------

要求額増減理由	
---------	--

事業実施の課題	老朽化等への対応
---------	----------

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
-----------	----------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおり
----------	------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94405	勤労青少年ホーム運営費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	7 労働	
	項	4 社会教育費		基本施策	1 誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	
	目	4 女性青少年推進費		施策	2 勤労者支援の充実	
実施計画事業	勤労青少年ホーム運営事業					
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	勤労青少年	受益者数	19,746 人
目的	勤労青少年ホームを活用した各種事業等の実施により青少年の健全育成を図る		
概要	各種教養講座の開催やクラブ活動に対する支援		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 教養講座開催数		回	目標値	300	300	300
			実績値	254	277	300	-
算出根拠等	指定管理者の実施報告		達成率(%)	85	92	100	-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② クラブ数	件	目標値	15	15	15	15
実績値			15	15	15	-	
算出根拠等	登録数		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 教養講座参加者数	人	目標値	3,800	3,800	3,800	3,800
実績値			3,309	3,595	3,800	-	
算出根拠等			達成率(%)	87	95	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② クラブ活動人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値			2,380	1,952	2,000	-	
算出根拠等			達成率(%)	119	98	100	-
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出 (千円) (A)			4,090	4,090	4,095	4,000
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり (円) (A/B)			1,236	1,138	1,078	1,053
② 受益者 教養講座参加者数 (B)			3,309	3,595	3,800	3,800	
算出根拠等	高山市内15歳以上35歳未満の人口						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	・勤労青少年ホームを活用した学習や交流の機会を求める市民ニーズは高い
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・多くの勤労青少年が教養講座やクラブ活動に参加している ・夏祭りの開催などにより地域住民との交流を深めている
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・指定管理者制度の導入により事業内容の充実を図っている
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者と連携し、勤労青少年のニーズを踏まえながら事業を展開している
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者制度を導入し、コスト削減に取り組んでいる
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・受益者1件当たりのコストは適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	勤労青少年の教養の向上や活発な交流が図られており、成果に対するコストは適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	勤労青少年ホームを活用した各種事業等の実施により青少年の健全育成を図る				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・働く青少年が教養を高め、より多くの仲間との交流や友情を深められるよう利用拡大を図る必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出 (千円)	4,095	4,090	△ 5	4,095	4,095
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	4,095	4,090	△ 5	4,095	4,095

予算要求の概要	勤労青少年ホームを活用した各種事業等の実施
---------	-----------------------

要求額増減理由	
---------	--

事業実施の課題	ニーズの変化への対応
---------	------------

財務部査定の考え方	・要求どおり
-----------	--------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおり
----------	------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94515	図書館管理費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線
					2349
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして
	款	9 教育費		分野	2 生涯学習
	項	4 社会教育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる
	目	5 図書館費		施策	1 学習機会の充実 2 学習施設の整備
実施計画事業	読書推進事業、図書館運営事業、図書館図書整備事業				
市長の約束					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	図書館の適正な管理運営により市民の利用を促進する どういった状態にしたいのか(意図)		
概要	事業の実施手法(手段) 指定管理者による施設の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 市民一人当たりの図書貸出点数	目標値	点		5.90	6.12	6.34
実績値				5.94	5.23	6.34	-
算出根拠等			達成率(%)	101	85	100	-
算出根拠等			達成率(%)	101	100	100	-
② 蔵書数	目標値	点		264,071	277,936	306,725	318,836
	実績値			266,606	276,655	306,725	-
	算出根拠等		達成率(%)	101	100	100	-
	算出根拠等		達成率(%)	101	100	100	-
① 図書館利用登録者数	目標値	人		44,613	47,090	49,567	52,044
	実績値			44,613	46,691	49,567	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	99	100	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	99	100	-
② 来館者数	目標値	人		373,405	379,141	379,635	379,635
	実績値			366,226	364,603	379,635	-
	算出根拠等		達成率(%)	98	96	100	-
	算出根拠等		達成率(%)	98	96	100	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A)	172,271	172,860	210,475	166,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				42,685		
コスト面	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	470	474	554	441	
	② 受益者 来館者	(B)	366,226	364,603	379,635	376,653	
	算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・蔵書の整備や読書推進事業等図書館機能の充実を求める市民ニーズは高まっている
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・知の拠点施設として多くの市民に利用されている
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・指定管理者制度の導入により利用者サービスの向上を図っている
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者と連携し、利用者目線に立った施設運営に努めている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者制度を導入し、コスト削減に取り組んでいる
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・施設の管理運営事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・多くの市民に利用されており、成果に対するコストは適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の実施方針(担当課評価)	図書館の適正な管理運営により市民の利用を促進する			

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価)	・平成22年度事業評価において、利用者のニーズに応じた資料の購入や配本等により蔵書の充実を図るとともに、利用者へのレファレンスサービスの充実を図る必要があるとの指摘をしており、引き続きこうした取り組みを行う必要がある。			

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	165,790	167,484	1,694	165,780	165,780
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	165,790	167,484	1,694	165,780	165,780

予算要求の概要	施設の管理運営
---------	---------

要求額増減理由	建築基準法による定期調査の実施に伴う増施設修繕に伴う増
---------	-----------------------------

事業実施の課題	知の拠点施設としての機能の充実
---------	-----------------

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・建築基準法による定期報告書作成業務委託は、建築営繕等事務費(土木費)で対応
-----------	--

市長査定の考え方	・財務部査定のとおり
----------	------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94600	文化振興事務費		担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350
会計	1	一般会計		政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
款	9	教育費		分野	4	文化	
項	4	社会教育費		基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る	
目	6	文化振興費		施策	1	文化的環境の醸成	
実施計画事業							
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 芸術文化の振興を積極的に支えます					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図) 芸術文化の振興を図る		
概要	事業の実施手法(手段) 文化振興事務 飛騨高山国際芸術祭開催準備(実行委員会設立)		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	算出根拠等		達成率(%)				-
②	算出根拠等		達成率(%)				-
①	算出根拠等		達成率(%)				-
②	算出根拠等		達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			152	151	4,190	-
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト内訳	一般財源			152	151	4,190	
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
コスト指標	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2	2	45	
	②	受益者	(B)	94,235	93,822	93,312	
	算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・市長の公約、総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	・心の中や生活に潤いと豊かさを求める市民意識の変化のなか、芸術文化の振興を求める市民ニーズは高まっている
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	・芸術文化の振興は幅広い市民の心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出すとともに、生きがいや、やる気づくりにもつながっている
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	・文化振興に係る事務費であり、活動成果指標の設定が困難である
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	評価対象外	・同上
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	・同上
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・事務費の節減に努めている
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B	・受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	・文化振興に係る事務費であり、成果に対するコストは概ね適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	10.0 / 14.0	100点換算 → 71 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	<input type="radio"/>	拡大	<input type="radio"/>	縮小	<input type="radio"/>	廃止の検討	<input type="radio"/>	完了	<input type="radio"/>
	芸術文化の振興を図る 飛騨高山国際芸術祭の開催準備をすすめる									

総合評価 (二次評価)	維持・改善	<input type="radio"/>	拡大	<input type="radio"/>	縮小	<input type="radio"/>	廃止の検討	<input type="radio"/>	完了	<input type="radio"/>
	「芸術文化振興指針」を策定し、今後の芸術文化振興施策の方向性を定める必要がある。 「飛騨高山国際芸術祭」の開催に向け、実行委員会を組織するなど、着実に調整を進める必要がある。									

議会からの 提言等										
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	4,190	13,000	8,810	1,190	1,690
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	4,190	13,000	8,810	1,190	1,690

予算要求の概要	文化振興事務 飛騨高山国際芸術祭の開催準備
---------	--------------------------

要求額増減理由	飛騨高山国際芸術祭イベント開催等に伴う増
---------	----------------------

事業実施の課題	市民意識の高揚
---------	---------

財務部査定の考え方	・飛騨高山国際芸術祭は、事業内容が未定であるため事務費のみを計上(事業費は、事業内容確定後に補正対応)
-----------	---

市長査定の考え方	・全国展出品者等激励金の創設
----------	----------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94605 美術展覧会等開催事業	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして	
	款	9 教育費	分野	4 文化	
	項	4 社会教育費	基本施策	2 あらたな文化の創造と振興を図る	
	目	6 文化振興費	施策	1 文化的環境の醸成	
実施計画事業	美術展覧会等開催事業				
市長の約束	9 伝統を守り、次世代へ継承します。芸術文化の振興を積極的に支えます				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) 芸術文化の市民生活への浸透と文化振興を図るため美術展を開催する		
概要	事業の実施手法(手段) 公募美術展の開催 市有美術品の保存・展示		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 市公募美術展への応募点数	目標値	点		300	1,000	350
実績値				319	747	350	-
算出根拠等			達成率(%)	106	75	100	-
算出根拠等			達成率(%)				-
②	目標値						-
	実績値						-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 市公募美術展への入場者数	人	目標値	1,700	3,100	1,800	3,300
			実績値	2,049	2,593	1,800	-
	算出根拠等	入場者カウント		達成率(%)	121	84	100
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	1,119	2,232	1,381	1,970
			実績値	2,049	2,593	1,800	3,300
	算出根拠等			達成率(%)			
算出根拠等			達成率(%)				-

  

コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)	2,292	5,788	2,486	6,500
受益者負担(使用料・負担金等)	2	326	0	400	
その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
一般財源	2,290	5,462	2,486	6,100	

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・市長の公約、総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	・芸術文化の市民生活への浸透に伴い、美術作品の発表の場や鑑賞機会の創出を求める市民ニーズは高い
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	・幅広い年齢層からの出品に加え、多くの市民が鑑賞を楽しんでいる
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	・芸術文化に対する意識の高揚や芸術文化水準の向上に寄与している
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・展覧会等のあり方等について検討している
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・運営業務の一部を委託する等、コスト縮減に取り組んでいる
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B	受益者一人当たりのコストは概ね適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	・より多くの市民に親しまれる展覧会等となるよう検討する必要があるもの成果に対するコストは概ね適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	11.0 / 20.0	100点換算	55 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	芸術文化の市民生活への浸透と文化振興を図るため美術展を開催するより多くの市民に親しまれる展覧会等となるよう、あり方等について検討する				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・平成22年度事業評価において、市美術展覧会(毎年)、木版画ビエンナーレ(隔年)及び地域振興予算で実施する臥龍楼日本画大賞展(毎年)を合わせた3つの公募展の関連や位置づけ、市民を巻き込んだ実施方法等について検討する必要があるとの指摘をしており、引き続きこうした取り組みを行う必要がある。 ・市有美術品の活用方法の検討、未額装作品の額装計画の策定を行う必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	2,486	7,514	5,028	6,436	6,996
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	0	425	425	560	560
一般財源	2,486	7,089	4,603	5,876	6,436

予算要求の概要	美術展覧会の開催
要求額増減理由	飛騨高山現代木版画ビエンナーレの開催(隔年)に伴う増
事業実施の課題	より多くの市民に親しまれる展覧会等のあり方等

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・飛騨高山現代木版画ビエンナーレ隔年開催による増
-----------	--------------------------------------

市長査定の考え方	・市展にかかる賞賜金の増額
----------	---------------



# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94610	文化芸術鑑賞事業費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350
会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
款	9	教育費	分野	4	文化	
項	4	社会教育費	基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る	
目	6	文化振興費	施策	1	文化的環境の醸成	
実施計画事業	文化振興自主事業					
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 芸術文化の振興を積極的に支えます				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) ・優れた芸術文化にふれる機会の充実を図る		
概要	事業の実施手法(手段) ・小学校芸術鑑賞事業の開催 ・市民文化芸術鑑賞事業の開催		
前回の評価からの改善・改革のポイント	・小学校芸術鑑賞事業の対象児童の拡大 ・市民文化芸術鑑賞事業の実施ホールの拡大		

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 鑑賞事業の実施回数		回	目標値	3	3	10
実績値				5	5	10	-
算出根拠等			達成率(%)	167	167	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 鑑賞事業への参加者数	人	目標値	4,900	5,000	10,000	10,000
実績値			4,872	4,133	10,000	-	
算出根拠等			達成率(%)	99	83	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	1,949	2,287	3,205	3,200
実績値			4,872	4,133	10,000	10,000	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			9,496	9,454	32,050	32,000
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源			9,496	9,454	32,050	32,000	

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・市長の公約、総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・大規模で優れた舞台芸術を鑑賞する機会を求める市民ニーズは高まっている
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・支所地域を含めた市内の文化ホールで開催しており、多くの市民が鑑賞事業に参加している
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・様々なジャンルの事業を実施することにより多様な市民ニーズに応えている
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・質の高い様々な芸術文化に様々な年齢層の方が様々な場所で触れられるよう計画的に事業を実施している
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・専門的知識がある団体に委託する等、より効果的に事業が実施できるよう取り組んでいる
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・より多くの市民が気軽に鑑賞できるような入場料設定を行っており、受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・多くの市民が参加しており成果に対するコストは概ね適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		13.0 / 20.0	100点換算 → 65 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	優れた芸術文化にふれる機会の充実を図る				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・H23予算において、小学生について対象学年を拡大(6年→4・6年)、市民について開催ホールを拡大(1ホール計3回→5ホール計8回)している。今後は開催実績などの検証を行い、次年度以降の事業計画を策定する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	32,050	56,050	24,000	32,050	32,050
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	2,000	0	△ 2,000	0	0
一般財源	32,050	56,050	24,000	32,050	32,050

予算要求の概要	芸術鑑賞事業の開催
要求額増減理由	子ども芸術鑑賞事業の拡大に伴う増 市民文化芸術鑑賞事業の拡大に伴う増
事業実施の課題	市民ニーズへの対応 子どもが優れた芸術文化にふれる機会の充実

財務部査定の考え方	・子ども芸術鑑賞事業・市民文化芸術鑑賞事業は、その効果等を検証し、今後の方針・計画等を明確にしたうえで事業展開を図るべきであるため、前年並み事業費とする
-----------	--

市長査定の考え方	・財務部査定のとおり
----------	------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94615	文化振興支援事業	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	4 文化	
	項	4 社会教育費		基本施策	2 新たな文化の創造と振興を図る	
	目	6 文化振興費		施策	1 文化的環境の醸成	
実施計画事業	文化振興支援事業					
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 芸術文化の振興を積極的に支えます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	各種文化団体	受益者数	93,312 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) 市民の自主的な芸術文化活動を支援する		
概要	事業の実施手法(手段) 芸術文化振興活動への支援 飛騨高山YANSA21フェスティバルへの支援		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等			目標値 実績値			
				達成率(%)				-
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		文化振興事業補助団体	団体	目標値 実績値	7 9	7 9	12 12	12 -
				達成率(%)	129	129	100	-
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値 実績値				-
				達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				6,096	5,000	8,700	8,700
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源				6,096	5,000	8,700	8,700
	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画		
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)		677,333	555,556	725,000	725,000		
	② 受益者 文化振興事業補助団体(B)		9	9	12	12		
				達成率(%)				-

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・市長の公約、総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	・芸術文化活動に対しては類似の支援策がないことから本事業に対する市民ニーズは高い
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	・文化活動団体の育成とともに、幅広い市民へ文化芸術鑑賞の機会が提供されている
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している(100%以上)	A	・補助件数は増加傾向にあり、事業目的は達成している
	B(1) 概ね達成している(75%以上)		
	C(0) あまり順調でない(75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	・市民の自主的な芸術文化活動が展開され、文化の振興に寄与している
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・より効果的な支援の方法を検討している
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・飛騨高山YANSA21フェスティバルの開催方法について関係団体と協議する等コスト縮減に取り組んでいる
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B	・受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	・より効果的な支援の方法について検討する必要があるものの、成果に対するコストは概ね適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	12.0 / 20.0	100点換算	60 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	市民の自主的な芸術文化活動を支援する 芸術文化活動に対するより効果的な支援の方法について検討する				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・H23予算において、文化振興事業支援補助金を拡大(年1→2回募集、予算倍増)しており、一層の利用拡大、市民への芸術文化活動の浸透・定着に取り組んでいく必要がある。 ・YANSA21フェスティバルについては、今後の事業のあり方等について検討する必要がある。				
議会からの提言等					

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	8,700	8,700	0	7,300	7,300
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	8,700	8,700	0	7,300	7,300
予算要求の概要	芸術文化振興活動への支援				
要求額増減理由					
事業実施の課題	より効果的な支援の方法				
財務部査定の考え方	・YANSA21フェスティバル補助金は、実績を踏まえ減				
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり				

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94620	文化伝承館管理事業費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	4 文化	
	項	4 社会教育費		基本施策	2 あらたな文化の創造と振興を図る	
	目	6 文化振興費		施策	1 文化的環境の醸成	
実施計画事業						
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します 芸術文化の振興を積極的に支えます				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	文化伝承館の適正な管理運営により市民の利用を促進する どういった状態にしたいのか(意図)		
概要	事業の実施手法(手段) 指定管理者による管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 開館日数	開館日数	日	目標値	293	297	300
実績値				293	297	300	-
算出根拠等		開館日数	達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
			実績値				-
算出根拠等		達成率(%)				-	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 利用者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	3,347	3,391	3,500	
算出根拠等	利用者数	達成率(%)	96	97	100	-	
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	1,091	1,076	1,043	
			実績値	3,347	3,391	3,500	
算出根拠等		達成率(%)				-	
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			3,650	3,650	3,650	-
	受益者負担(使用料・負担金等)			0	0	0	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	
一般財源			3,650	3,650	3,650		

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・市長の公約、総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	・お茶会や歌会、日本舞踊等、施設に適した利用ニーズがある。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	C	・施設の機能・性格から利用者が限られているものの、観光客も含め多くの見学者がある
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	・指定管理者制度の導入により利用者サービスの向上を図っている
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者と連携し、利用者目線に立った施設運営に努めている
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者制度を導入し、コスト縮減に取り組んでいる
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	・施設の管理運営事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	・多くの市民に利用されており、成果に対するコストは適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0	100点換算 → 65 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	文化伝承館の適正な管理運営により市民の利用を促進する施設の有効活用について検討する				
総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				
議会からの 提言等					

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	3,650	3,717	67	3,650	3,650
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	3,650	3,717	67	3,650	3,650
予算要求の概要	施設の管理運営				
要求額増減理由					
事業実施の課題	施設の有効活用				
財務部査定の考え方	・積算内容を精査				
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり				

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94900	生涯学習推進事業費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	2 生涯学習	
	項	4 社会教育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	
	目	9 生涯学習推進費		施策	1 学習機会の充実	
実施計画事業	生涯学習推進事業費、子ども科学館開催事業					
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	生涯学習機会の提供と充実を図る		
概要	市民カレッジ、出前講座の開催		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 講座開催数		件	目標値	20	20	20
実績値				19	19	20	-
算出根拠等			達成率(%)	95	95	100	-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 講座受講者数	人	目標値	800	800	800	800
実績値			720	1,380	800	-	
算出根拠等			達成率(%)	90	173	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	2,850	1,525	1,475	1,875
実績値			720	1,380	800	800	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			2,052	2,104	1,180	1,500
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源			2,052	2,104	1,180	1,500	

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・自己の知識・技術・経験を高める学習や地域づくりにつながる学習等、生涯学習機会の提供と充実を求める市民ニーズは高まっている
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・幅広い世代の市民に学習機会を提供している
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・家庭教育や成人の学び等に関する学習機会を提供することで、市民の学習意欲の高揚に寄与している
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・受講者アンケートの実施等、市民の学習ニーズを把握しながら事業を実施している
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・市民講師の活用や地域資源を活用した講座の開催等によりコスト縮減を図っている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・多くの市民に受講されており成果に対するコストは概ね適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0	100点換算	65 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	生涯学習機会の提供と充実を図る			

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	・地域ぐるみで子どもを育み、誰もが生きがいを持って生涯学び続け、地域へ学びを還元していくことのできる「知の循環型社会」の構築が求められており、家庭教育・青少年育成・成人の各ライフステージに応じた学習機会の提供・充実を行う必要がある。			

議会からの 提言等	
--------------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	1,180	5,010	3,830	1,180	1,180
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	1,180	5,010	3,830	1,180	1,180

予算要求の概要	生涯学習機会の提供
要求額増減理由	子ども科学夢創造事業(子ども移動科学館事業の拡大)の実施に伴う増
事業実施の課題	学習ニーズへの対応 子どもが科学等に興味や関心をもつ機会の充実

財務部査定 の考え方	・子ども科学夢創造事業の拡大は、ニーズ把握や事業計画が不十分であるため見送り ・積算内容を精査し、前年並み事業費とする
---------------	--

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94910 放送大学高山学習センター運営費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして	
	款	9 教育費	分野	2 生涯学習	
	項	4 社会教育費	基本施策	1 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	
	目	9 生涯学習推進費	施策	1 学習機会の充実	
実施計画事業	放送大学高山学習センター運営事業				
市長の約束					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	16歳以上の市民	受益者数	42,962 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	放送大学岐阜学習センター高山分室を適正に管理運営する		
概要	事業の実施手法(手段)	管理事務		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		学生数	人	目標値	80	80	80	80
算出根拠等			実績値	68	72	80	-	
			達成率(%)	85	90	100	-	
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
			実績値				-	
			達成率(%)				-	
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		新規入学者数	人	目標値	10	10	10	10
			実績値	10	14	10	-	
			達成率(%)	100	140	100	-	
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
			実績値				-	
			達成率(%)				-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				597	664	700	700
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源				597	664	700	700
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,779	9,222	8,750	8,750	
	②	受益者 学生	(B)	68	72	80	80	
	算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	・社会人が学び直す機会として、自分のライフスタイルに合わせて学びたいことを学ぶことができる放送大学に対する市民ニーズは高い
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・幅広い年齢層の方に利用され、学生数も年々増加している
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・広報たかやまやメール配信サービス、CATVなどの多様な媒体を活用し、市民へ広報している
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・より一層の利用拡大に向け広報活動を充実するとともに、学生が受講しやすい環境づくりに取り組んでいる
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	・必要最小限の経費で運営している
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・受益者1件当たりのコストは適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・多くの市民に利用されており、成果に対するコストは概ね適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	15.0 / 20.0	100点換算	75 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	放送大学岐阜学習センター高山分室を適正に管理運営する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	700	700	0	700	700
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	700	700	0	700	700

予算要求の概要	放送大学の管理事務
要求額増減理由	
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	・要求どおり
-----------	--------

市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに
----------	-------------

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94935	生涯学習施設等管理事業費	担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 ゆたかさのあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	2 生涯学習	
	項	4 社会教育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	
	目	9 生涯学習推進費		施策	2 学習施設の整備	
実施計画事業						
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	生涯学習施設の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	指定管理者による施設の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 開催日(飛騨プラネタリウム)	算出根拠等	日	目標値	222	283	270	270
			実績値	222	283	270	-
	達成率(%)		100	100	100	-	
	算出根拠等						
② 開催日(奥飛騨栃尾生涯学習館)	算出根拠等	日	目標値	330	334	335	335
			実績値	316	322	335	-
	達成率(%)		96	96	100	-	
	算出根拠等						
成果指標	① 利用人数(飛騨プラネタリウム)	人	目標値	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績値	4,193	6,164	4,500	-
	達成率(%)		93	137	100	-	
	算出根拠等						
② 利用人数(奥飛騨栃尾生涯学習館)	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	
		実績値	1,382	1,580	1,500	-	
	達成率(%)		92	105	100	-	
	算出根拠等						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		14,516	8,738	8,740	-	
	受益者負担(使用料・負担金等)		151	194	0		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源		14,365	8,544	8,740		
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,604	1,128	1,433		
	② 受益者 利用者数	(B)	5,575	7,744	6,100		
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画、生涯学習振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・生涯学習に対する意識の高まりに伴い、施設利用に対する市民ニーズは高まっている
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・生涯学習の中核的施設として多くの市民に利用されている
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・指定管理者制度の導入により利用者サービスの向上を図っている
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者と連携し、利用者目線に立った施設運営に努めている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・指定管理者制度を導入し、コスト削減に取り組んでいる
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・施設の管理運営事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・多くの市民に利用されており、成果に対するコストは適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		16.0 / 20.0	100点換算 → 80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	生涯学習施設の適正な管理運営により市民の利用を促進する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・サービス向上・コスト削減等を一層進めていくとともに、利用促進を図る必要がある。 ・生涯学習施設の今後のあり方については、市全体での調整・検討が必要である。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	8,740	38,324	29,584	28,113	28,113
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他		558	558	650	650
一般財源	8,740	37,766	29,026	27,463	27,463

予算要求の概要	施設の管理運営
要求額増減理由	建築基準法による定期調査の実施に伴う増 生涯学習施設の安全点検実施に伴う増 他事業との経費の移し変えに伴う増減
事業実施の課題	老朽化等への対応

財務部査定の考え方	・国府文化ホール管理経費は、実績を踏まえ積算内容を精査 ・文化ホール天井の安全点検費用を計上 ・建築基準法による定期報告書作成業務委託は、建築営繕等事務費(土木費)で対応
-----------	---

市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに
----------	-------------